



消防だより

4月の広報テーマ
林野火災の防止

119

春の全道 火災予防運動

4月20日(水)から4月30日(土)までの11日間にわたり、春の全道火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、火災の発生を防止し、火災による死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施されているものです。統一標語は

「火は消した？ いつも心に
きいてみて」



林野火災予防 対策の推進

林野火災の起火原因には、たばこの不始末、たき火及び火入れなどがあり、マナーの欠如や危機管理の甘さから出火に至るケースが目につきます。

空気が乾燥した4月・5月に、畑の枯れ草焼きによる火入れが原因で火災が発生しています。風にあおられた火の粉が飛び火し、延焼拡大しますので、火入れは空気が乾燥した日や風の強い日は避けましょう。

また、一度林野に火が着くと、あつという間に広がり消火には多くの困難を伴うことから、特に林野周辺の住民の方や入山者などは防火意識を強く持たなければなりません。

救急隊員研修会を開催

3月3日、医療法人社団「新日鐵室蘭総合病院 心臓血

管外科 科長 大谷則史医師」を講師として招き、救急隊員研修会が開催されました。大谷先生からは胸部の疾患について、救急隊の視点から注意しなければならぬポイントなどの講義を受けました。講義終了後は職員から活発な質問が出るなど、今後の救急活動に生かされる有意義な研修会でした。



熱心に聞き入る受講生

上級救急講習会で 心肺蘇生法を受講

管内、5カ町村の住民を対象にした上級救命講習会が、3月13日に消防署会議室で行われました。当講習会は年に1度開催され、8時間に及ぶ講習の



ダミーを使った心肺蘇生訓練

なかでは新生児から成人までに對しての心肺蘇生法や搬送法、外傷患者の応急手当てなど多くの知識・技術を習得することを目的としています。

今回、初めてAED(自動体外式除細動器)を取り入れた心肺蘇生法を講習に盛り込みました。32名の受講者は初めて見るAEDに最初は戸惑いを感じながらも、熱心に学び取扱を習得していました。

AED:心臓が停止した人に対して心臓に電気を流す機械で、いかに早く電気を流すかが重要となります。AEDは空港などに既に設置されており、今後普及が予想されます。

電柱にカラスの巣を みかけたら「ほくでん」

毎年、4～5月はカラスの巣づくりが盛んな時期です。

カラスも、以前は枝木を集めて巣づくりをしていましたが、最近では針金やハンガーなどを使うケースも増えており、高圧線や変圧線に触れて停電の原因にもなっています。このような状況を見かけたら、お手数ですがご連絡をお願いいたします。

連絡先:ほくでん室蘭支店(室蘭市寿町1丁目6番25号) ☎0143-47-11112



2月の...
●火災 1件
●救急 34件

